

平成 28 年度「キャリア教育・就労支援等の充実事業」成果報告書

受託団体名

札幌市教育委員会

I 概要

1 モデル地域の概要

①モデル地域の種類 ※Ⅰ型、Ⅱ型、Ⅲ型のいずれかに○を付してください。

☐	Ⅰ型（連携型：特別支援学校高等部及び高等学校の連携）
☐	Ⅱ型（単独型：特別支援学校高等部のみ）
☐	Ⅲ型（単独型：高等学校のみ）

②モデル校の一覧

設置者	学校種	課程又は障害種	学校名（ふりがなを付すこと）
札幌市	高等学校	定時制普通科	しりつさっぽろおおどおりこうとうがっこう 市立札幌大通高等学校

2 研究課題

軽度障がい等により就職困難な高校生の社会的自立を可能にするため、生徒の情意面にも配慮した、包摂的実践的キャリア教育を推進する事業の研究

3 研究の概要

自閉症スペクトラムなど障がいのある生徒や不登校経験、経済的困窮など、問題を抱えている生徒は、特性や成育歴などから、自分に自信がなく成功体験が少ないか限定的である例が大半である。そのため生徒は、就職活動や高校がキャリア教育として実施する社会的体験などに、主体的に取り組むことができない状態にある。

そこで本研究では、キャリア教育ネットワーク会議やキャリア教育コーディネーター、キャリア教育支援員を活用し、教育課程内において生徒の自己肯定感・自己有用感を醸成し、進路決定率を向上させるため、以下の取組を実施した。

- 大学生等の年齢の近い年長者による、情意面を向上させる体験的活動を含むモチベーション向上プログラムの開発
- 複数分野の企業と行う、見学、インターンシップ、短期アルバイト、正社員といった多段階中間就労プログラムの開発
- 生徒の職務遂行能力を測るアセスメント基準の策定・開発

4 研究の成果

- 教員、若者支援団体、労働、福祉、企業、学識者、教育委員会等の委員 22 名で構成するキャリア教育支援ネットワーク会議を設置。計 3 回開催。取組の評価・検証と情報交換を実施し、課題を整理した。
- 「カタリ場」の授業の事前・事後のアンケートにおいて、「進路・将来についてイメージができていいる」という質問に対し、肯定的な回答をした生徒が 122 人中 34 人から 62 人に増加した。
- モチベーション向上プログラムの開発に向けて、4 名のキャリア教育支援員を登録。週 2 回生徒へのチアアップ活動を実施した結果、開設当初の 6 月には特定の生徒が数名訪れる程度であったが、「カタリ場」実施後の 11 月頃から繰り返し訪れる生徒が増え始め、一日あたり 2～3 名程度が利用。生徒が自分自身の現状を把握し、学校生活や進路に対して一步を踏み出すことにつながり、一定程度の効果が確認できた。
- 多段階中間就労プログラムの開発に向けて、6 月より連携企業 2 社の校内説明会を開催。生徒との面談を通じて作成した個々の職務遂行能力アセスメントを基に、現在 11 名が就労中である。
- 本事業と関連する「福井ラウンドテーブル2017」に参加、開発したプログラムについて実践報告、意見交換等を実施した。
- 大通高校と豊明高等養護学校の就労支援コーディネーター間において、情報交換及び共有するための方策について検討した。
- 本研究事業の各取組について、成果と課題や、会議での議論内容を報告書にまとめた。

5 課題と今後の方策

- 本事業におけるモチベーション向上プログラムとアセスメントを活用した多段階中間就労プログラムは一定の成果を上げることはできたが、大通高校の生徒には同様の支援が必要とされる進路希望未定生徒が在籍の 25% 近くいるという現状を踏まえると、今回支援・指導できた生徒はごく一部であり、本事業の成果等についても引き続き詳細な分析を行い、本調査研究の成果を基に、より多くの生徒に働きかけていくことが必要である。
- 本事業のモデル校である大通高校においては平成 29 年度から「キャリア基礎」(1 年次全員必修)及び「産業社会と人間」(2 年次全員必修)を新たに開講するなど、教育課程に位置付けたキャリア教育をさらに推進していくこととしており、今後も学校・企業・福祉等、様々な視点から本事業で明らかとなった成果を共有するとともに課題の解決に向けて検討を重ね、生徒の自己肯定感や自己有用感等を向上を目指して、外部人材等の連携・協力を得ながら地域と学校が協働していく取組を継続していくことが求められる。
- 多段階中間就労プログラムに興味を示す企業が複数あるが、連携企業を大幅に増やし本事業を拡大するためには、キャリア教育コーディネーターの配置人数の増加や予算上の課題がある。
- チアアップ活動を実施した生徒には、キャリア教育支援員に対する依存傾向も見られることから、生徒との距離感、学校との連携など、高いスキル等をもったスタッフの育成と確保について検討が必要である。